

三河商人道

PART
154

(株) 永田石材問屋
代表取締役社長
永田 龍寛 君



青年部とは
人と人の繋がりをつくる場所



石工団地にある永田石材本店



真剣な表情で青年部を語る永田さん



取材スタッフと記念撮影

創業昭和3年永田石材問屋の代表取締役社長である永田龍寛さん。会社を矢作石工団地の幹線沿いに構え、製造から建立まで全ての行程に伝統に培われた確かな技と心を活かした施行を心がけておられるそうです。日本人は単なる製品としてよりも宗教的な感性から、魂の産物として石を見てきました。しかし、近年ではインターロッキング等のコンクリート製品とは趣の異なる素材として見直されており、業界も新たな時代へ突入しつつあります。石の都として全国的にも有名な岡崎を代表する会社として、また業界のトップリーダーとして、石の伝統技術を守りながらも、新しい『石の文化』を創りたいと考えておられるそうです。

次に、チャーターメンバーとして26年間青年部一筋に駆け抜けてきた思い出を語っていただきました。入会のきっかけは岡崎商工会議所に青年部ができるからと、当時の社長であるお父様にお誘いが来たそうですが、お父様のご年齢が50歳ということもあり、お父様から「お前がかわりに入れ」と息子である龍寛さんが入会したそうです。知り合いもおらず、何もわからず青年部とは何をするんだろうと思いながら入ったのですが、他の委員会はメンバーの入替えがある中、ワタナベ鯉のぼりの渡辺要市先輩が3年間委員会メンバーを替えずに引っ張る姿が後の青年部活動の手本になったそうです。当時のメンバーで渡辺組という同窓会をいまでも年に1回開催をされていて、永田さんが一番若輩だったということで永久幹事をされています。

会長、県連会長をはじめ、数々の役職を歴任され、まさにミスター青年部である永田さんに青年部での良い思い出をお聞きしたところ、沢山の人たちと出会えてお互い切磋琢磨できたこと、それと平成20年の県連会長をやらせていただいたこと、他の単会の方と個人的な繋がりが増え、今でもお付き合いがあることに感謝をしているそうです。現在愛知県連で行われている「愛知県YEG DAY」は永田さんが県連会長の時に「友達をたくさん作ろう」をキーワードに始められました。

また、同好会活動ではソフトボール部監督、ゴルフ部会長と積極的に活動され今年度の県連ソフトボール大会では岡崎を連戦全勝の優勝に導き、さらに秋に開催された岡崎YEGコンペでは3回目の優勝で有終の美を飾られました。

最後に、永田さんに「青年部とは」とお聞きしました。青年部とは「人と人の繋がりをつくる場所」、商売で一番大切なのは人脈、青年部はその人脈づくりには最適な場所、どんどん出てきてみなさんと友達になり飲んで遊んで馬鹿をやってください、それが繋がりと人脈となります。一貫して人と人の繋がりを話していただいた永田さんのお話を聞き、これからの青年部活動を考えるきっかけを頂きました、ありがとうございました。



取材担当 / 総務委員会
山本、長澤、久山、迫田、
加藤、大井、飯田、澤野、
志賀、角谷、蜂須賀